

# 北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2022.09.No301

9月号

## 目次

防災の日	1
特集 北海道建築士会 会員作品紹介 2022	2
ブロック会報告	4
西から東から「旭川のまち」	6
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

## 防災の日

被災地応急支援委員会 土田浩貴（上富良野支部）



防災の日は、1960年に制定され1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんだものです。また8月31日から9月1日付近に台風の襲来が多いとされ災害の備えを怠らないようにという事も込められています。

防災という言葉はよく聞きなれていると思いますが、減災という言葉もあります。減災とは「災害によって被害を最小限に抑える為に予め行う取り組み」とあります。災害前はハザードマップの確認、また避難場所の確認、避難経路の確認、家具の転倒防止等があり、災害が起こったときには自分自身を守る「自助」身近な人同士で助け合う「共助」等が減災ということですが、自ら減災に取り組むことが大切です。

被災地応急支援委員会では、年に2回の計画で全道各地、各支部の皆様にも協力してもらい北海道知事認定震災建築物応急危険度判定士講習会・机上訓練を開催しています。今年度は7月16日に道南ブロック（函館市）で開催し、10月には道東ブロック（帯広市）で開催します。この講習会は道内（国内）で震災が発生し建築物が被災した場合、迅速かつ的確な対応が図れるよう近隣支部、同じブロック管内の支部、全道各支部へと協力体制を整え、被災建築物に対する応急危険度判定が円滑に進むように準備を進めています。

道内の応急危険度判定士の登録者数は減少傾向にあります。平成27年では登録者3071人でしたが、令和4年3月末時点では2646人となっています。これから新規での講習を受けて登録を考えている方、以前に登録をして期限が切れている方は、講習会を受けて登録をお願い致します。北海道建築士会以外にも各振興局で講習会も開催していますので受講してみてください。

今年度から応急支援委員会も新体制となり、約2

年間新型コロナウイルスによって講習会・机上訓練の開催ができない状態でした。2020年11月に函館での講習会の2日前に延期が決まり、先ほども触れましたが2022年7月16日ようやく開催し委員会から5名の講師と10名の参加者で講習会が終了しました。そして委員会では北海道主催の講師に係る実務研修会を受講し北海道建築士会主催の講習会での確に皆様にお伝えできるように心がけています。

私の所属している上富良野支部、上富良野町には活火山の十勝岳があります。1962年（昭和37年）に起こった大噴火を契機に昭和38年から富良野川砂防事業を現在も進めています。1988年（昭和63年）の噴火により新たな泥流対策施設の建設に着手しました。その時の噴火の際には町民730名に避難勧告を発令しましたが、一部住民は未避難があり当時の教訓から防災思想普及が重要と考え、その後、親子が今も残る泥流の爪痕及び被害軽減の学習のため、地元小学生向けの現地学習会を開催し、32年間で延べ6200人の子供たちが学びました。今の子供たちが親になり、学んだことを次の子供たちに伝えてくれれば、災害の恐ろしさが薄れることなく引き継がれていくと思います。

また2022年にはジオパークの認定を受け、ジオパークと連携した災害に強い人材の育成と地域の防災力の向上を目的とした総合的な学びの場、生きた教材として利用しています。

いつ起こるかわからない自然災害において普段からの準備や再確認が必要だと感じながら原稿を書いてみました。皆様も再確認してはいかがでしょうか？

最後になりますが、これからも応急支援委員会の委員として皆様の支部にお邪魔することもあるかと思っております。講習会でお会いできるのを楽しみにしています。

## 山寺さんの家

【設計・監理】  
遠藤一男 / 遠藤設計事務所 (宗谷支部)

外観



内部



補強壁



### 【コンセプト】

北海道の北の端、礼文島 この島は、海に崖山が迫っているため 北海道知事が土砂災害特別警戒区域に指定、居室を有する建造物に特別の構造基準を定めている (レッドゾーン) 今回の建物もその部分にかかると、土砂を受け止める擁壁を山側に造る、擁壁は4M以内に控え壁を要したり、本屋との隙間に雪・土砂・雨などが入ってくるため、外壁に擁壁を重ねる仕様にした。土砂側は、開口部も床下換気口も居室も造れない為、プラン的に苦労した。

【所在地】 礼文郡礼文町 【建築用途】 住宅 【建築年】 2021.12 【工事施工者】 岡本建業

## スパル建設新社屋新築工事

【設計・施工】  
佐藤栄司 / ミサワホーム北海道株式会社 (札幌支部)

新社屋外観



事務室



社長室



### 【コンセプト】

昭和46年設立の株式会社スパル建設「一般土木請負 土砂採取販売 いちご農園経営」と昭和50年設立の株式会社柏運輸「一般区域貨物自動車運送事業 土砂骨材運搬」の2代目となる新社屋です。恵庭市を中心として信頼・信用・誠意で躍進する企業で外観の色はスパルカラーのグリーンを取り入れた平屋の凹凸感のある優しいデザインとしている。事務室には旧社屋にあった大黒柱を事務室の中央に設置し社員の心のよりどころとした。また床はパープル色のカーペットと天井は一部配色を変えライン状の照明器具を設定し新たな気持となる空

間のインテリアとした。社長室には会社で使用している車両の模型等を飾る収納棚を設置し、完全な個室にならないように事務室と社長室とを視線で繋ぐガラス入りの開口部を設定した。

【所在地】 恵庭市 【建築用途】 事務所 【建築年】 2021.08  
【工事施工者】 ミサワホーム北海道株式会社



本誌及びホームページにて募集した会員の皆さんの作品をご紹介します。11回目となる今年は、4作品が集まりました。当会の目的でもある建築士の品位の保持及び技術の向上並びにその業務の進捗改善を図り、広く社会公共の福祉増進と併せて北方建築文化の発展に寄与するための一助となることを祈念し、今後もこの取り組みを継続していきたいと考えておりますので、皆さんからのたくさんの応募をよろしくお願ひします。なお、応募作品はホームページにも掲載していますのであわせてご覧ください。

## なかむら内科ハートクリニック

【設計】

中井寿也 / 一級建築士事務所 アトリITARÔ (札幌支部)

外観 (昼1)



外観 (夜1)



内観 (昼1)



### 【コンセプト】

なかむら内科ハートクリニックは、オホーツク海を望む北の大地、網走市潮見地区に地域の皆様の「かかりつけ医」として誕生しました。おもな特徴は平屋建てで、外観デザインはシンプルに計画、もちろん内観も診療導線もシンプルに計画、やはりなんでもシンプルがベストな建物になるね。。。コロナ禍の中のオープンは大変でしたが、高齢化が進む地域には無くてはならない存在と成りました。

【所在地】 網走市

【建築用途】 診療所

【建築年】 2020.03

【工事施工者】 株式会社ダイイチ

## 海沿いの家

【設計】

若狭成行 / 黒島建設 1級建築士事務所 (函館支部)

内観・LD面



外観・国道面



内観・キッチン面



### 【コンセプト】

「海沿いの家」は、クライアントとの共同設計プロジェクトでした。クライアントが以前に住んでいた場所は、八雲町作成ハザードマップでは浸水深さ0m地域であり、近い将来の温暖化を見据えて海拔15m超えの場所で建設としました。また、クライアントは漁師一家である為やはり海が望めるように諸室レイアウトを考慮し設計を致しました。住宅性能としては北方型住宅レベルの性能を有しています。当地域は多雪地域でフラット屋根の積雪を心配しておりましたが場所的条件により浜風により飛ばされるようで1シーズン見た限りでは心配ないと懸念事項のひとつが解消しております。

【所在地】 北海道八雲町

【建築用途】 一戸建ての住宅

【建築年】 2021.09

【工事施工者】 株式会社黒島建設

## 道央ブロック協議会

### 青年委員会

道央ブロック長 吉田 徹 (札幌支部)



ここ数年、皆さんの日々の生活を大きく変えた新型コロナウイルス。建築士会での活動をはじめ青年委員会の道央ブロック運営にも大きな影響を与えました。各支部青年委員会間での情報共有や仲間づくり、スキルアップ、事業連携などを主な活動として道央ブロックとしても、ほぼ2年間の空白期間となりました。令和4年に入り公的な行動自粛要請がなくなったことで、コロナ禍前の開催方法に戻りつつあります。

道央ブロックにおいては、各支部青年委員会の多大な協力と理解のもとに、4月23日に第1回目を札幌で、7月16日に小樽で開催することができました。

札幌で開催した第一回目の協議会においては株式会社竹中工務店様の事務所の「北海道地区FMセンター」を見学いたしました。事務所は木材の地産地消、カーボンニュートラルなどのコンセプトで一般流通する道産材の住宅用小径木材を用いて大空間を構成するために二重に組んだ架構システム「ダブルティンバー工法」で実現してありました。また、複雑な架構システムを企画から工事管理まで一貫してBIMを用いて行うことにより効率的に業務を行うことの合理性についても見学することができました。

省エネ性能については、太陽光を取り入れて蓄熱

する方法や地熱を利用した省エネ性の高い空調を採用することでZEBreadyを取得しておりました。

近未来の建築手法の一つの形を見学することで大変有意義な研修会、協議会とすることができました。

第二回目の協議会は第一回目の未来的な建築手法とは逆の古い歴史的建築物の利活用について小樽の街を「おたる案内人」のガイドのもと街歩きをし、様々な歴史的建築物の見学を行いました。小樽という街は北海道の炭鉱事業の発展とともに輸送拠点として経済の中心となったことで、多くの金融関係の機関が支店を置いておりました。しかし、炭鉱事業衰退とともに経済の中心部は札幌に移り20世紀前半の建物が取り残された街並みとなっております。現在はそのような歴史的建築物を保存し活用することで趣のある街並みとなっております。

このような街並みも新型コロナウイルスにより建物を利活用する大きな産業である観光業が低迷しました。事業者がいなくなり建物を利用しなくなる事で急速な老朽化を起している建物もありました。歴史を象徴するような古き良き建物が老朽化し廃墟化することへの「さびしさ」を感じるとともに、今ある歴史的な資産を活用し、街としての特異性を残す事へのすばらしさを感じる研修会、協議会とすることができました。

我々、道央ブロックは各支部様々な人、立場で参加されております。このような協議会の事業をきっかけにして、それぞれ一人の建築士として何か一つでもプラスになるような会を心がけております。今後とも皆様のお力添えのほどお願い申し上げます。

## 道南ブロック協議会

### Withコロナ

### 青年委員会

道南ブロック長 岡嶋 昭宏 (苫小牧支部)



道南ブロックは令和4年7月30日(土)に久々の協議会を函館市で実施し、その前は令和元年11月30日に実施している為、丁度2年8ヶ月ぶりの開催となり、私が道南ブロック長になり2期目にして初めての協議会となりました。

研修として、函館市白尻町の縄文文化交流センター(道の駅南かやべ)に集合し、施設展示見学と【世界遺産】の史跡垣ノ島遺跡と大船遺跡の遺跡見学を実施し、紀元前7,000年~1,000年頃の竪穴建物跡(私の認識では竪穴住居だと思っていたのですが、住居以外で使用していた痕跡が有る為、今は竪穴建物跡との事)と土器や石器、ヒスイ、それと【国宝】の土偶を見学し、当時の集落の形成や生活スタイル、そして何より北海道最古の建物をうかがい知

る事や、古来からの人と建物の重要な関わりが想像でき、改めて私たち建築士として初心に帰ることができた良い機会となりました。

研修終了後は榎法華(とどほっけ)総合センターに移動し、『マイはし作り』のイベントを終えた函館支部青年委員のメンバーと合流し、自粛期間中の各支部の活動と今後の計画について協議を行い、久々の対面協議の為、話題もつきませんでした。道南メンバーの変わらぬ笑顔と、ちらほら新メンバーの顔も見え、改めて対面活動の大切さと必要性を実感いたしました。自粛中は数回オンライン協議会を行いました。場の雰囲気と熱い思いは、中々スピーカーとモニター越しからは伝わらないモノが有る為、今後は以前の様な道南ブロック協議会になる様、感染対策を行いながら、Withコロナで活動していきたいと思っております。

又、今回は小樽支部の近藤前委員長も、在任中自粛により活動できなかったりベンジとして、道南ブロック協議会に参加して頂き、貴重な時間をありがとうございました。



竪穴建物跡復元

↑土偶



写真撮影時のみマスクを外し無言で笑顔!



## 道北ブロック協議会

### 青年委員会

道北ブロック長 宮沢 勝 (北空知支部)



今年度より道北ブロック長に就任いたしました北空知支部の宮沢 勝と申します。

2020年1月より流行の始まった新型コロナウイルスが我々の生活や仕事に影響を及ぼし始めて2年半以上が経過しました。これにより私たちの生活スタイルは一変し、これまで対面での会議や打ち合わせが当たり前であったものが、web会議や職種によっては、テレワークを取り入れられるなど、多少不便を感じる場面もありながらも、そういった社会の流れに多くの方が触れ、慣れてきているのではないのでしょうか。建築士会活動においても同様に、Zoomでの会議が何度か行われてきました。

私は道北ブロック長に就任する前の2020年1月より2年間本部青年委員として活動してきましたが、本部青年委員の行事についてはほとんどが延期や中止、webでの開催や書面開催となりました。また、道北ブロック協議会においては2年間全く活動することが出来ないまま改選期となり、前任者より道北ブロック長の役を引き継ぎました。

今年度においてはすべての活動において「withコロナ」が前提になると考え、行動制限がない状況であるため、感染対策を徹底した上での事業の実行が必要であると考えています。

## 第1回道東ブロック協議会 を振り返る

### 青年委員会

道東ブロック長 石川 俊樹 (網走支部)



第1回道東ブロック協議会が網走にて開催された。「青年建築士の集い」がコロナ禍での成功体験から、道東ブロック協議会も開催する方向で一致した。エコーセンター会議室では事業計画、収支予算、今後のブロック協議会の開催地についてなど話し合いが行われた。参加者は18名。冒頭に網走支部塩川支部長にご挨拶をいただいた。



塩川支部長による挨拶

協議会終了後、施設見学交流会として「博物館網走監獄」の見学を行った。北海道開拓の歴史を学び、100年の歳月に深く刻まれた北海道の近代建築美の世界を堪能した。特に「五翼放射状平屋舎房」は圧巻である。第一舎から第五舎まであり、80もの部屋が廊下を挟んで整然と並んでいる。舎房の中央には1ヵ所から全体を見渡せるように六角形の中央見張

道北ブロック協議会は、道内の感染状況を注視し、状況判断をと考えていましたが、6月11日(土)に開催することが出来ました。第1回道北ブロック協議会は沼田町で行い、出席がかなわなかった1支部を除き、全ての支部に参加いただきました。

ブロック事業として沼田町役場より講師を招き、沼田町の積極的な雪利用の取り組み、主に冷熱エネルギーを利用した雪冷房や、農産物の保存を行っている等の講義を1時間程度行いました。

講義後は「沼田町雪の科学館」の現地視察を行い、冷房用の雪貯蔵庫や実際に米・野菜の保管に利用している倉庫に入り、目で見て触れることが出来ました。

また、協議会終了後には深川へ移動し、6名という小規模ではありますが、懇親会を行うことが出来ました。懇親会についてもコロナ前の様に大勢の方に参加いただける日が1日でも早く訪れることを願っております。

今回の道北ブロック協議会は富良野支部で予定しています。8月現在、コロナの流行が第7波と言われており、開催時期や開催方法は慎重に検討しなければいけません。感染対策を十分に行い、可能な限り多くの参加者を迎えることが出来るよう、準備を進めていきたいと考えております。

コロナの完全終息というのは、まだまだ先が見えませんが、この状況下でも少しでも有意義な活動が出来るよう様々な方法を模索していきたいと考えています。そして社会全体が1日でも早く元の生活に戻り、たくさんの交流が生まれることを心より願っております。

り所があり、実に合理的で機能的な設計である。雑居房は「斜め格子」で廊下と仕切られており、廊下側から部屋の中を見ることはできるが、向かい側の部屋は互いに見えないディテールなど建築的視点からも合理性が伺え、静謐な建築に触れることができた見学となった。



「五翼放射状平屋舎房」外観を眺める

施設見学交流会終了後、網走原生牧場観光センターへ移動し、懇親会を行った。青年の皆様と書ききれないくらい語り、今後の取組みについて意見交換が行われた。「地に足の着いた事業の展開」「交流事業」「減り続ける会員の問題」「参加しやすい環境」等多岐にわたり語り合った。

北海道建築士会道東ブロックが今後一丸となり、取組みを継続していくことで乗り越えていける仲間がいると強く感じた協議会となった。

最後に、道東ブロック協議会網走開催を企画・運営していただいた網走支部青年委員の皆様のおかげをもちまして、各事業を滞りなく開催できましたことに感謝し、ご協力いただいた皆様にはこの場をお借りしてお礼を申し上げます。



情報委員会 角張 隆昌 (旭川支部)

### ～旭川市～

日本最北端の中核市で、北海道第2の都市である旭川。8月1日に大正11年の市政施行から、100年を迎えました。

### ■旭川駅と北彩都ガーデン■

再開発事業により、平成23年には旭川駅舎が改築され、駅前広場も整備されました。この広場では、ビアガーデンが開催されたり、冬はスケートリンクが作られ、無料でスケートを楽しむことができます。

今年は、3年ぶりに「北の恵み 食べマルシェ」が開催される予定です。この駅前広場から、常盤公園まで北北海道の自治体や旭川市の交流都市からの「食」が集まります。9月17日(土)～19日(月・祝)まで開催される予定ですので、ぜひお越しください。

駅前広場の反対側には、駅に直結した北彩都ガーデンが広がっています。忠別川を活かし、全体が連携したガーデンが整備されており、散策することができます。



### ■旭川平和通買物公園■

昭和47年に全国初の歩行者専用道路として開設され、今年50周年を迎えました。

買物公園沿いには複数の総合デパートが立地していましたが、それらはほとんど閉店してしまっています。近年それらの跡地に、新しい複合商業施設やマンションなど建設されています。



左は、西武デパートの跡地にできた複合施設で、ホテルや市の子育て支援施設も入居します。

右は、旧長崎屋跡地でタワーマンションの建設が行われています。

### ■新しい飲食店街■

駅前から約1km離れた場所に、今年7月に新しい商業施設がオープンしました。旭川出身の元衆議院議員のタレントが社長を務める会社が運営しており、小さな店舗が25店舗入居しています。

函館にある屋台村のような小規模なお店が連なっています。

まだ、お店には行ったことがありませんが、近くを通ると、建物屋上やガーデン広場で多くのお酒などを楽しんでいました。少しずつですが、小さなお店なども増えてきているので、中心市街地も少しずつ活性化してきています。



旭川といえば、旭山動物園が有名ですが、市内中心部にも楽しめる場所が増えてきました。動物園に寄ったら、旭川に宿泊し、ぜひ旭川の街を楽しんでいただきたいです。



## 室蘭支部

## 青年建築士の集い（室蘭大会）について

青年部長

高橋 友樹



3年ぶりに行われた青年建築士の集い（室蘭大会）。準備期間が少なく、開催は非常に困難であった。何よりいつもと違うのは新型コロナウイルスが流行していて、常にソーシャルディスタンスを求められ、手指の消毒はもちろんマスク着用や密にならないよう見学会、研修会を運営しなければいけなかったことである。

今回の集いは室蘭市旧絵鞆小学校円形校舎の見学を60人規模で行った。見学会当日は現地にて新型コロナウイルス抗原検査キットを使用し、参加者全員の陰性を確認してからスタート。密にならないグループ割、校舎棟と体育館棟の移動動線、手指の消毒場所の確保等普段気にすることのない事に神経を尖らせた。見学の内容では、以前に室蘭で行われた青年サミット

で外観はバスに乗って見学していた。当時は閉校して間もなく、また円形校舎は使用していたため内部の見学は出来ていなかった。今回はガイド付きで室蘭の歴史と共に円形校舎を見ることが出来た。1グループ

50分程度コースだったが見所が沢山あり、とても時間が短く感じた。その中でも体育館棟の円形に組まれた鉄骨は昭和35年に建てられた物とは思えない位すばらしい建築物であった。参加者も皆声を上げて天井の円形に組まれた鉄骨を見つめていた。

また、研修会は「学習センターきらん」にて開催。議題は各ブロックで行われている地域実践活動について。何年～何十年も続いている地域の活動だが、活動人数の減



室蘭市旧絵鞆小学校の見学

少また同じ事を繰り返す事で起こるマンネリ化をどのように防ぎ、若い世代に繋いで行くか。また、市民と活動を共に行うことでどのように建築士会をアピール出来るかなど議論は白熱した。



研修会の様子

## 空知支部

## 空を知る…

副支部長

細谷 武伴



はじめまして。今年度から空知支部岩見沢分会 分会長を仰せつかることになりました細谷と申します。この記事が出る頃には2年間コロナ禍で惜しくも中止されていた第44回全道大会がいよいよ空知の地で開催されます。私たち空知支部のスタッフも準備で忙しい時期を迎えている頃だと思えます。原稿を書いている時点では新型コロナウイルスによる第7波急拡大が心配されて全国で色々な対策がなされている最中です。今年は北海道建築士会創立70周年という節目でもあります。基調講演には各メディアで大活躍しております、そらち応援大使でもある鈴木貴之氏による講話も大変楽しみにしております。

空知はおおよそ百年にわたり炭鉱の町の集まりとして昭和の産業革

命の源でもあった石炭産業が盛んだった地方でもありました。初の採炭の地でもある三笠の幌内炭鉱から小樽の手宮駅をつないだ鉄道を期に鉄の街室蘭へと鉄道が導かれ、製鉄業が盛んになりました。岩見沢はその鉄道のハブ駅として栄え、その歴史は「炭鉄港」という日本遺産として盛んに受け継がれています。そのほか空知の風景や食として注目されている場所でもあります。とくに最近ではワインの生産地として注目されている場所が多々あります。

そんな魅力ある空知ですが、私達実行委員会では少しでも安心して大会が終了できるよう対策をとりながら大会を成功させる計画を立てておりますので、安心して大会への参加をよろしく願いいたします。

空知支部は他の支部と違い、南北に広い地域性の問題で各市町村別に11の分会を設けてそれぞれの分会で独自の活動を行っておりま

す。岩見沢分会では建築士の日ビールパーティーや岩見沢市内の小学校で木造の物置小屋を小学生と一緒に作る「どうやってつくるんだらう？建物づくり教室」など青年部を主体とした活動を行っていましたが岩見沢分会でも青年建築士不足で親会を交えた活動に変わりつつあります。建物教室もあと1校を残すのみとなりましたが、このあとの事業も考えなければならぬ時期となっており、早くも分会長としての苦境を迎えております（笑）

私も建築士会に加入して30年ほど経ちました。建築士会全体の問題であるとは思いますが、会の存続のために会員がこの会に加入してよかったと思わせる魅力をつけるため、時代に合わせた運営や企画を行っていかねければと思う次第です。一日も早くこのコロナ禍が収まり、制限のない生活が戻ることを願うばかりです。ありがとうございました。

## 道士会の動き

### 道本部の主な会議報告（8月）

#### ◆第3回総務・企画委員会

（開催日）1日（月）

- 1) 令和4年一般会計事業報告及び収支状況報告（6月末）
- 2) 令和4年特別会計事業報告及び収支状況報告（6月末）
- 3) 「（一社）北海道建築士会特別活動費」の令和5年助成対象事業及び助成金の額の決定（案）
- 4) （一社）北海道建築士会運営規則の改正（案）
- 5) インボイス制度の導入
- 6) 令和5年一般会計事業計画及び予算編成
- 7) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
- 8) その他

#### ◆第2回事業委員会

（開催日）6日（土）

- 1) 令和5年「特別活動費」助成事業の選考
- 2) 「建築技術者が知っておきたい施工の心得」講習会
- 3) その他

#### ◆第3回女性委員会小委員会（web会議）

（開催日）18日（木）

- 1) 全道大会 A分科会

#### ◆第2回まちづくり委員会

（開催日）20日（土）

- 1) 「2021年まちづくりフォーラム・オンライン」アフターミーティング
- 2) 全道大会（空知大会）B分科会
- 3) まちづくりフォーラムの企画
- 4) その他

#### ◆第4回理事会

（開催日）26日（金）

- 1) 令和4年一般会計事業報告及び収支状況報告（6月末）
- 2) 令和4年特別会計事業報告及び収支状況報告（6月末）
- 3) 令和4年一般会計予算の補正
- 4) 「（一社）北海道建築士会特別活動費」の令和5年助成対象事業及び助成金の額の決定（案）
- 5) インボイス制度の申請及び導入（案）
- 6) 令和5年一般会計事業計画及び予算編成
- 7) 定款第6条に基づく会員の入会承認（案）
- 8) その他

## 編集後記

第43回全道大会（土別大会）開催から約4年。第44回全道大会（空知大会）が9月3日（土）に開催されます。情報委員会も久々に号外発行に挑みますが、思い返すと、第39回の旭川大会から、全ての発行に携わっていますので、残念ながら、大会式典、基調講演には、しばらく参加できていません。今回もギリギリまで、入稿作業があり、参加は叶いませんが、懇親会場には、必ず印刷ほやほやの号外をお届けしますので、お楽しみに！

情報委員会委員長 森 勝利（日高支部）

### 本部の主な行事予定（9月）

- 2日（金） 第44回全道大会（空知大会）青年サミット  
 3日（土） 第44回全道大会（空知大会）  
 11日（日） 二級建築士試験（製図）  
 16日（金） 第3回代議員選挙管理委員会

### 講習会・セミナーのご案内（9月）

#### 監理技術者講習

14日（水） 札幌市

### CPD認定プログラム（8月認定）

#### ◆第44回（一社）北海道建築士会全道大会

##### 基調講演

《日程及び会場》9月3日（土） 16：20～17：20  
 岩見沢市民会館（岩見沢市）

《単位数》1単位

##### 各分科会

《日程及び会場》9月3日（土）

A分科会 10：00～12：30 雨煙別小学校（栗山町）

B分科会 10：30～13：30 三笠市民会館他（三笠市）

C分科会 10：30～12：30 安田侃彫刻美術館（美唄市）

《単位数》各2単位

#### ◆北海道建築士会震災建築物応急危険度判定士認定講習会・机上訓練

《日程及び会場》9月14日（水） 13：00～16：00

江別市民会館（江別市）

10月29日（土） 13：45～16：22

とかちプラザ（帯広市）

《単位数》各2単位

《問合せ先》

（一社）北海道建築士会 TEL 011-251-6076

### “会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



■視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力

■9月パスワード：Fur023

情報委員会委員長／森 勝利  
 副委員長／前田 繁・立花智亜喜  
 委員／今村 敏彦・境谷 香奈・角張 隆昌  
 村山 賢司・徳留 裕敏

### 北海道建築士 No.301号

印刷 令和4年8月／発行 令和4年9月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会  
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地  
 大五ビル  
 電話 (011) 251-6076番  
 URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎  
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目  
 電話 (011) 811-7151番